

望まれる医療を 地域の動物達のために 飼い主様のために 動物病院様のために

当院は犬猫を対象としたMRI・CTを配備した画像診断センターとなっております。

画像診断専門獣医師が撮影・読影を担当させていただきます。

完全紹介制・完全予約制にて一般の動物病院と連携をとることで、地方の動物医療の向上を目標にしております。

MRI検査



0.4T 永久磁石型

MRI検査

MRIとはMagnetic Resonance Imaging(核磁気共鳴画像法)の略であり、磁場を利用し軟部組織の観察に優れた検査です。脳・脊髄を中心とした神経疾患の画像診断を実施します。全身麻酔下にて約60分程度の検査となります。依頼に応じて関節・腹部の検査も実施いたします。

適応疾患

てんかん、脳炎、脳腫瘍、水頭症、脳梗塞、椎間板ヘルニア、脊髄梗塞、脊髄炎、脊髄腫瘍、脊髄空洞症など。

※体内に金属物があると検査が実施できない場合がありますのでご注意ください。

脳脊髄液検査

脳脊髄周囲の液体を採取・検査することで病気の特定につながる有用な検査です。MRI検査後に必要に応じて採取します。

椎間板ヘルニア(手術)

椎間板ヘルニアは神経に重篤な障害を与えてしまう、緊急疾患です。当院では椎間板ヘルニアの症例はMRI検査後速やかに、手術を実施することで疾患の治癒率向上を目指します。

※病院の体制により、実施できない場合がありますのでご了承ください。

CT検査



16列ヘリカルCT

CT検査

CTとはComputed Tomography(コンピュータ断層撮影)の略であり、X線を利用して断層像を得る検査です。全身の精査には、全身麻酔下にて実施し、所要時間は20分程度です。造影検査については、腹部領域の標的臓器(肝臓・脾臓・腎臓)によって多時相撮影を実施し、より診断精度を高めています。

適応疾患

各種の腫瘍疾患、呼吸器疾患、整形外科疾患(骨盤骨折など)、血管形成異常(PSS、PDAなど)

バイオプシー検査

画像で腫瘍が疑われる場合に、病変部をバイオプシーすることで原因特定可能です。採材部位により、針生検・Tru-cut・骨生検・エコーガイド下生検などが実施可能です。出血のリスクを避けるため、事前に血液凝固系の検査を実施することで安全性を確認します。

治療

検査後に、動物病院様のご依頼により、当院にて内科治療をさせていただきます。難治性てんかんのコントロール、脳炎治療、リンパ腫などの化学療法、IBDの内科治療などを対応します。疾患コントロールできたら、紹介動物病院様に戻っていただけます。

内視鏡検査

慢性的な嘔吐や下痢の原因精査のために上部および下部の消化管内視鏡検査が実施可能です。また食道異物・胃内異物の摘出も対応可能です。



放射線治療

腫瘍(がん)に対し、局所療法として放射線治療を実施し縮小させます。手術困難な部位に対し、全身麻酔下にて複数回にわたり放射線照射を行います。



遠隔診断

X線検査・CT検査・MRI検査の遠隔診断を実施いたします。DICOM画像の場合にはインターネット環境を利用したデータの送受信にも対応しております。導入をご検討の動物病院様はお問い合わせください。